

# 平成30年度 学校経営計画

練馬区立八坂小学校 校長 工藤 智昭

## 1 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、国際的視野に立つ、自主性・創造性に満ちた八坂小学校の子供を育てることを目指し、次の教育目標を設定する。

### ○よく考える子

学習に主体的に取り組み、よく考え解決しようとする子供を育てます。

### ○心ゆたかな子

豊かな情操をそなえ、自他の人格を尊重し、助け合って生活できる子供を育てます。

### ○たくましい子

進んで運動に親しみ、心身を鍛え、健康な体づくりに努力する子供を育てます。

## 2 教育目標を達成するための基本方針

- 自他の生命を尊重し、子供や保護者にとって安全で安心のできる学校を目指します。
- 指導する際の判断基準は、「子供にとってよいか」におきます。
- 児童理解に努め、一人一人がもつ「よさ」を認め伸ばす指導を行っていきます。
- 基礎・基本の定着を図るとともに、「分かる、楽しい授業」を展開し、確かな学力の育成に努めます。
- 豊かな関わり合いを通して、他者を思いやり尊重する心を育てます。
- 体力の向上を推進し、心身ともに健康な子供の育成を図ります。
- 家庭や地域との連携を密にしながら、地域や保護者に信頼される学校を目指します。
- 教育公務員としての自覚をもち、服務を遵守するとともに、自己研鑽に励み、資質、能力を高めていくとする教職員集団を目指します。

## 3 目指す学校像

### 子供が満足する学校

子供が満足する学校とは、

- 子供たちが学ぶ楽しさを十分に味わうことができ  
る
- 子供たちが自分の成長を実感することができる
- 子供たちが主体的に学校生活を送ることができる  
学校であると考えます。

### 保護者が安心する学校

保護者が安心する学校とは、

- 自分の子供の成長を実感することができる
- 学校の教育活動がよく見え、理解・共感することができる
- 保護者と学校が協力して教育活動を推進していくことができる
- 学校であると考えます。

### 地域に信頼される学校

地域に信頼される学校とは、

- 地域の方々が学校を応援し、協力してくれる
- 地域のこれまでの歴史、伝統を大切にする
- 地域と学校が協力して教育活動を推進していくことができる
- 学校であると考えます。

### 職員がやりがいを感じる学校

職員がやりがいを感じる学校とは、

- 一人一人の職員が職責を自覚し、個々の力を十分に発揮することができる
- 職員が自分の仕事の成果を実感することができる
- 職員が自分の勤める学校に自信と誇りをもつことができる
- 学校であると考えます。

この目指す学校像に近づくためには、全職員が同じ意識をもち、教育活動を進めていく必要があります。そのため  
に今年度も、「笑顔かがやく八坂の子」　「みんなで育てる八坂の子」  
を年間のキャッチフレーズとし、本校の教育活動を推進していきます。

## 4 中期経営目標（3～5年先を見据えて）とその方策

### （1）学力の向上

#### ①「わかる」「できる」を実感させる学習活動の実施

- ・ねらいを明確にした授業と適切な評価により、児童に確実な学力を身につけさせる。
- ・児童一人一人の学習状況を的確に把握し、個に応じた指導を展開する。

#### ②基礎基本の定着

- ・基礎的、基本的な学習指導の徹底を図る。（すくすくタイム・家庭学習・学力補充教室等）
- ・「学習スタンダード」を活用し、学習規律の徹底を図る。（始業時、終業時のあいさつ・返事・話の聞き方・姿勢等）
- ・学習形態を工夫した指導を展開する。（習熟度別指導・チームティーチング・補習等）

#### ③児童が「主体的で深い学び」を達成する学習活動の実施

- ・児童が課題をしっかりと把握し、追求していく態度を高めていく指導を展開する。
- ・対話的な活動を取り入れた学習活動を展開する。
- ・授業改善を図り、児童が主体的に学習を進めていける授業を実施する。

#### ④読書活動の充実

- ・学校図書館の活用を図り、読書活動を充実させる。
- ・朝読書、読書時間などを通じて、読書の日常化を図る。

### （2）ゆたかな心の育成

#### ①自他を大切にする心や態度の醸成

- ・自尊感情や自己肯定感を高めながら、お互いのよさを認め合う指導を充実させる。
- ・「いじめ」をしない、させない指導の徹底を図る。
- ・縦割り交流活動の充実を図るとともに幼保小、小中との連携を強化し、小中一貫教育を推進する。
- ・特別支援教育の充実を図り、個に応じた指導を実施する。
- ・道徳教育や特別活動の時間を通じて、児童の主体性や協調性を育む。

#### ②規範意識・奉仕の心の定着

- ・「生活スタンダード」を活用し、全校的に指導・振り返りを展開する。
- ・あいさつ運動を充実させる。
- ・生活指導基本5項目の徹底を図る。
- ・栽培活動やボランティア活動を実施する。
- ・情報モラル教育やSNS学校ルール等の指導を実施する。

### （3）体力の向上・健康安全教育の推進

#### ①体育学習の充実

- ・体育学習における教員の指導力向上を図る。（校内研究との関連を図る。）
- ・オリンピック・パラリンピック教育を推進する。
- ・体育的活動の時間を活用し運動の日常化を図る。

#### ②健康教育の充実

- ・薬物乱用防止教室、非喫煙教育、食育、心の健康教育、生活習慣病予防教育等の健康教育を実施する。

#### ③安全教育の充実

- ・校内外の安全指導、防犯、交通安全、防災等の安全教育を実施する。

## (4) みんな（地域・家庭・学校）で育てる

### ①地域との連携

- ・教育活動へ積極的に地域の人材の活用を図る。（ゲストティーチャー・体験活動等）
- ・地域行事へ積極的に参加する。（潮干狩り・川遊び・野外活動・地区祭・八坂の集い等）

### ②家庭との連携

- ・保護者と連携した教育活動を展開する。（読み聞かせ・運動会・防災教室等）
- ・各行事や学校公開アンケートや学校評価アンケートを通じて保護者の意向を把握し、学校の課題改善に反映させていく。

### ③積極的な情報発信

- ・学校だよりや学級だより、学校ホームページを充実させ、教育活動の様子を積極的に発信する。
- ・定期的に学校評議員会を開催し地域へ教育活動について知らせていく。

## (5) 教員の資質向上

### ①「学習指導力」の向上

- ・「授業を創る力」「ねらいに沿って学習を進める力」「児童の興味を引き出し、個に応じた指導をする力」「主体的な学習を促すことができる力」「学習状況を的確に評価し授業を進める力」「授業を振り返り改善する力」を向上させていく。

### ②「生活指導力・進路指導力」の向上

- ・「児童と良好な関係を構築する力」「児童の思いを理解し、適切に指導する力」「児童の個性や能力を伸ばし、自己実現を図らせる力」「生活指導上の課題を発見し、解決する力」を向上させていく。

### ③「外部との連携・折衝力」の向上

- ・「保護者・地域・外部機関に適切に対応する力」「保護者・地域・外部機関と連携し課題解決する力」「情報発信並びに情報収集を適切に行う力」を向上させていく。

### ④「学校運営力・組織貢献力」の向上

- ・「校務において企画・立案する力」「周囲とコミュニケーションを図りながら円滑に校務を遂行する力」「積極的に学校運営に参画する力」「校務の課題を把握し改善する力」を向上させていく。

## 5 今年度の達成目標と方策

### (1) 学力の向上

○達成目標	方 策
○「わかる」「できる」を実感させる学習活動の実施 <達成目標の柱となる内容> ①ねらいを明確にした授業 ②適切な評価	①週の計画表に必ず授業ごとのねらいを記述するとともに、授業の始めに学習のねらいを児童に明示することを徹底する。 ②授業ごとに児童の学習の評価（見取り）を確実に行い、次の指導に生かす。（場合によっては、前の学習内容や前学年の学習内容に立ち返って指導を行ったり、個別に指導を行ったりする。）
○基礎基本の定着 <達成目標の柱となる内容> ①基礎的、基本的な学習指導の徹底 ②学習スタンダード（学習規律）の徹底	①すくすくタイム（15分モジュール授業）の計画的・継続的な実施、東京ベーシックドリルの活用、副教材の効果的な活用を通して、基礎基本の徹底を図る。 ②全教員が「学習スタンダード」の意義と内容を理解し、児童

<p>③学習形態を工夫した指導</p>	<p>に確実に指導していくことで学習規律の徹底を図る。</p> <p>③・算数科において習熟度別少人数指導を実施する。(板書の仕方や問題解決方の授業展開を統一して授業を行う。)</p> <p>・理科における講師を活用したチームティーチングを実施する。</p> <p>・I C T機器(指導用PCや電子黒板、プロジェクター等)を活用した学習活を実施する。</p>
<p>○児童が「主体的で深い学び」を達成する学習活動の実施</p> <p>&lt;達成目標の柱となる内容&gt;</p> <p>①児童がしっかりと課題を把握し、追求する活動</p> <p>②対話的な活動</p>	<p>①児童に、課題把握→ 探求活動 →まとめ という学習の流れを定着させ、児童自らが学ぶ力を高めていく。(問題解決型学習の定着)</p> <p>②各教科等の学習において、積極的に対話的な活動を取り入れ、児童がお互いに学び合う機会を多く設定する。</p>
<p>○読書活動の充実</p> <p>&lt;達成目標の柱となる内容&gt;</p> <p>①学校図書館の活用</p> <p>②読書の日常化</p>	<p>①学校図書館管理員と図書開放、学校図書館部が連携し、学校図書館の環境を整備し、児童の図書館利用を促進する。</p> <p>②・週3回朝読書の時間を設定する。</p> <p>・年3回の読書旬間を設定する。(家庭との連携を図りながら実施する。)</p> <p>・読み聞かせボランティアを募り、定期的に児童に読み聞かせ活動を実施する。</p>

## (2) 豊かな心の育成

○達成目標	方 策
<p>○自他を大切にする心や態度の醸成</p> <p>&lt;達成目標の柱となる内容&gt;</p> <p>①自尊感情や自己肯定感を高める</p> <p>②「いじめ」をしない、させない指導</p> <p>③縦割り交流活動</p> <p>④小中一貫教育の推進</p>	<p>①登校班や委員会・クラブ活動、スマイル(縦割り交流活動)において児童一人一人の役割や協力することの大切さを意識させる指導を行う。</p> <p>②・温かな学級作りアンケートを活用し、児童の人間関係を的確に把握し、きめ細かい指導を行うことでいじめの未然防止に努める。</p> <p>・道徳の授業や学級活動を通じて児童の相手を思いやる気持ちを育み、よりよい人間関係を構築する。</p> <p>・「いじめ」アンケートを定期的に行い、いじめの早期発見に努め、早い段階で対応する。(いじめ対策推進教員をはじめとするいじめ対策委員会を機能させる。)</p> <p>③スマイルタイム(1単位時間の縦割り班活動)を年間5回、ミニスマイルタイム(休み時間の縦割り班遊び)を年間17回設定し、異学年交流活動を促進する。</p> <p>④・校区別協議会(八坂中学校区 年2回)を通して、小中両教員が授業参観を行い、課題改善カリキュラムの改善、指導法の改善に努める。</p>

<p>⑤特別支援教育の充実</p> <p>⑥道徳教育の充実</p> <p>⑦学級活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校教員による乗り入れ授業を実施する。</li> <li>・6月に八坂中学校訪問を実施する。(6年生)</li> <li>・リトルティーチャー(中学校生徒)による、学力補充教室の指導補助を行う。</li> <li>・児童会・生徒会による交流活動を実施する。</li> </ul> <p>⑤・月1回の特別支援校内委員会を開催し、支援を要する児童に対しての支援方法の検討、ならびに指導者・支援者の役割の明確化を図る。</p> <p>・特別支援教室拠点校として巡回校との連携を図りながら特別支援教育を推進する。</p> <p>⑥「特別の教科 道徳」実施にあたり、対話的な活動を積極的に取り入れた道徳授業を行っていく。</p> <p>⑦定期的な学級活動(話合い活動)を実施するとともに、その内容(議題等)を各教員間で共有化を図る。(平成25・26年度の研究をベースにする。)</p>
<p>○規範意識・奉仕の心の定着 &lt;達成目標の柱となる内容&gt;</p> <p>①「生活スタンダード」の活用</p> <p>②あいさつ運動</p> <p>③生活指導基本5項目</p> <p>④栽培活動やボランティア活動</p> <p>⑤情報モラル教育・SNS学校ルール</p>	<p>①「八坂小 生活スタンダード」の指導の徹底を図り、児童の規範意識の向上を図る。(校内生活・教室移動・家庭学習・話す・聞く等)</p> <p>②生活指導部や児童会を中心においさつ運動を実施し、児童が自ら進んであいさつをしようとする習慣の定着を図る。</p> <p>③生活指導基本5項目について児童への意識化、指導の改善を図る。(振り返りカードを活用し、児童・教員ともに自己点検を行う。)</p> <p>④・栽培委員会の活動や各学年で栽培活動を実施し、自然の恩恵や勤労への感謝、生命に対する畏敬の念を育む。</p> <p>・クリーン運動を実施し、学校内外の清掃活動に取り組むことで、ボランティア精神を育む。</p> <p>⑤情報モラル講習会(5年生)を実施し、児童の情報モラルに関する知識・意識の向上を図るとともに、SNS学校ルールをもとに保護者への啓発を行い、SNS家庭ルールの策定とその実施を促していく</p>

### (3) 体力の向上・健康安全教育の推進

○達成目標	方 策
<p>○体育学習の充実 &lt;達成目標の柱となる内容&gt;</p> <p>①体育学習における教員の指導力向上</p> <p>②オリンピック・パラリンピック教育の推進</p>	<p>①校内研究で体育科の指導について取り上げ、年間6回の研究授業を通じて、教員の指導力の向上を図る。</p> <p>②・オリンピック・パラリンピック教育の年間計画(各教科への位置づけ)を作成し実践する。</p> <p>・オリンピアン・パラリンピアンを招聘し、体験学習や交流活動を行い、スポーツの素晴らしさや努力することの大切さに気づかせる。</p> <p>・「世界ともだちプロジェクト」を通して、世界の多様性を知ると共に様々な価値観を尊重しようとする態度を育む。</p>

<p>③運動の日常化</p>	<p>③体育的活動の充実を図り、児童に運動の日常化を促す。(定期的な体育的活動の時間の設定・持久走大会の実施・なわとび週間の充実・遊具等の検定表の活用・運動遊びの紹介・夏季水泳指導の体系化等)</p>
<p>○健康教育の充実 &lt;達成目標の柱となる内容&gt;</p> <p>①薬物乱用防止教室・非喫煙教育</p> <p>②食育</p> <p>③心の健康教育・生活習慣病予防教育</p>	<p>①薬物乱用防止教室（6年生）を実施し、薬物の害についての知識を身につけさせる。</p> <p>②・ランチルーム給食の時間に栄養補助員を活用した食育指導（食材や栄養を中心とした内容）を全学級に行う。</p> <p>・食育全体計画に基づき、各教科と関連づけた食育指導（栄養補助員を活用したTTの授業等）を実施する。</p> <p>③保健学習の指導を通して、心の健康教育・生活習慣病予防教育の充実を図る。</p>
<p>○安全教育の充実 &lt;達成目標の柱となる内容&gt;</p> <p>①校内外の安全指導</p> <p>②防犯教育</p> <p>③交通安全教育</p> <p>④防災教育</p>	<p>①安全指導計画の指導内容について指導の徹底を図り、児童の安全に対する意識を向上させ、危機回避能力を高める。</p> <p>②セーフティ教室（1年～4年）を実施し、防犯並びに不審者対応への知識や具体的な対応方法について理解させる。</p> <p>③交通安全教室（1年・3年）を実施し、正しい歩行や自転車の乗り方についての知識や技能を身につける。</p> <p>④防災訓練（全学年）を実施し、防災に関する基礎的な知識を身につけさせるとともに、自助・共助等、児童の危機回避能力を高める。</p>

#### （4）みんな（地域・家庭・学校）で育てる

○達成目標	方 策
<p>○地域との連携 &lt;達成目標の柱となる内容&gt;</p> <p>①地域の人材の活用</p> <p>②地域行事への積極的な参加</p>	<p>①学校・地域連携事業を推進し、地域の人材を活用した教育活動を行う。（ゲストティーチャーによる授業・体験的な活動の講師・学習サポート・生活支援・地域未来塾等）</p> <p>②・育成委員会主催の行事（潮干狩り・川遊び・野外活動）</p> <p>・地域・町会主催の行事（地区祭・盆踊り・八坂の集い）等の行事へ年2回程度の参加を目標とする。</p>
<p>○家庭との連携 &lt;達成目標の柱となる内容&gt;</p> <p>①保護者と連携した教育活動</p> <p>②アンケートを通じた保護者の意向の把握</p>	<p>①・地域訪問・保護者会・個人面談等を通して保護者との連携を図る。</p> <p>・PTA活動・PTA行事を通して保護者との連携を図る。</p> <p>②運動会・音楽会・展覧会・学校公開・学校評価等でアンケートをとり、保護者の意向を把握するとともに教育活動の改善に反映させる。</p>

<p>○積極的な情報発信</p> <p>＜達成目標の柱となる内容＞</p> <p>教育活動の様子の積極的な発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりの充実を図る。(各学年や行事での児童の活動の様子を掲載し発行する。)</li> <li>・学校ホームページの充実を図る。(学校ホームページを毎週更新して、教育活動の様子を伝える。)</li> <li>・学級だよりの定期的な発行を行う。(各学級の様子を学級だよりを通じて保護者に伝える。月2回以上を目標とする。)</li> <li>・学校評議員会を定期的に開催する。(学校評議員会を年間3回開催し、教育活動の様子を伝えるとともに、学校関係者評価を行い、学校経営に反映させる。)</li> </ul>
---	---

## (5) 教員の資質向上

○達成目標	方 策
<p>○「学習指導力」の向上</p> <p>＜達成目標の柱となる内容＞</p> <p>①ねらいに沿って学習を進める力</p> <p>②主体的な学習を促すことができる力</p> <p>③専門性の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①意図的・計画的な授業を実施する。(週の計画表に基づいた授業の実施)</li> <li>②自力解決、問題解決型の授業を実施する。(課題把握・自力解決・集団検討・まとめ等の学習の流れ)</li> <li>③教育会研究会・研究発表会・指導教諭模範授業等に積極的に参加し、教科の専門性を高める。</li> </ul>
<p>○「生活指導力・進路指導力」の向上</p> <p>＜達成目標の柱となる内容＞</p> <p>生活指導上の課題を発見し、解決する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の共通理解の下で組織的に生活指導を行い、児童に規範意識を醸成する。(全教員が同レベルでの生活指導を行う。)</li> <li>・あいさつ・返事・言葉遣い・廊下の歩行・給食・掃除・等の場面で具体的かつ適切な指導を行う。</li> </ul>
<p>○「外部との連携・折衝力」の向上</p> <p>＜達成目標の柱となる内容＞</p> <p>①情報発信並びに情報収集を適切に行う力</p> <p>②保護者と連携し課題解決する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①積極的に情報発信、情報収集を行い、外部との連携を強化する。(校務PC、ICT機器の活用を含む。)</li> <li>②保護者会や個人面談で得た情報を適切に指導に反映させる。</li> </ul>
<p>○「学校運営力・組織貢献力」の向上</p> <p>＜達成目標の柱となる内容＞</p> <p>①積極的に学校運営に参画する力・校務において企画・立案する力</p> <p>②服務規律の徹底</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自分の職層や校務分掌・役割を自覚し、主体的に学校運営(具体的な企画・立案、分掌職務の遂行)に参画する。</li> <li>②教育公務員としての自覚をもち、服務規律を遵守する。(体罰・個人情報の管理・わいせつ・セクハラ・会計事故・飲酒事故・勤務時間・通勤等、服務事故防止研修の定期的な実施とその具体的な防止策の周知を年間通じて行う。)</li> </ul>